

剣道写真館（写真撮影）

運営マニュアル

① 目的・概要

来場者（未経験者・子ども）に、剣道着・袴・防具を安全に着用してもらい、各自の携帯電話で記念撮影を行う体験ブースです。着装は「服の上から」を原則とし、先生・中学生・高校生が補助して、短時間で回転させます。

② 必要人数（目安）

- 受付・順番整理：1名（整理券／声かけ／待機列）
- 着装サポート（指導役）：2名（先生1名＋中高生1名以上が望ましい）
- 撮影サポート：1名（ポーズ誘導／撮影ボタン補助／背景位置調整）
- 片付け・整頓：1名（竹刀・防具の回収、汗拭き、備品整列）

③ 備品

■ 体験用（必須）

- 剣道着・袴（複数サイズ）／防具一式（面・胴・小手・垂）／竹刀（複数本）

■ 会場備品（推奨）

- 養生マット／ブルーシート（着替え・着装エリアの区画）
- 姿見（鏡）／簡易ハンガーラック／椅子 2～4脚
- ウェットティッシュ／除菌スプレー／汗拭きタオル



▲ 設営準備：ハンガーラック・備品配置の例

④ レイアウト（推奨）

エリア構成

- ・① 受付・待機列（入口側）
- ・② 着装エリア（服の上から着る／私物置き場所を確保）
- ・③ 撮影エリア（背景が整理された壁側が望ましい）
- ・④ 返却・整頓エリア（脱いだ防具・竹刀を回収して整列）

⑤ 事前準備（開始前 10～15分）

- 道着・袴・防具・竹刀をサイズ別に並べる（見て選べる配置）
- 撮影位置（立ち位置）を床テープまたはコーンでマーキング
- 着装エリアにマット／シートを敷く（床の清潔確保、滑り対策）
- スタッフ役割分担（受付／着装／撮影／返却）を確認

⑥ 当日の運営手順

【受付】

- 来場者に「服の上から着用」「走らない」「竹刀は振り回さない」を簡潔に案内

【着装（指導・補助）】

- 道着 → 袴 → 防具を目安に装着。小さい子は椅子を使用し転倒予防
- 帯・紐は"ほどけにくい結び"を優先（完璧さより安全・スピード）

【撮影】

- 撮影エリアに誘導し、竹刀の持ち方（中段）や簡単なポーズを提案
- 保護者の携帯で撮影（必要に応じてスタッフが撮影ボタンを補助）

【返却・整頓】

- 防具・竹刀を回収し、汗拭き／除菌を実施。次の来場者用にサイズ別に並べ直す



▲ 着装指導の様子：服の上から着用

⑦ 着装の重要ポイント（要点のみ）

★ 必ず守るポイント

- 必ず「右前（右身頃が下、左身頃が上）」で着る（左前は絶対NG）
- 裸にならない。必ず着てきた服の上から着用する
- 紐の結び目は正面ではなく脇腹側に寄せる（見た目・安全性）
- 袴は長すぎると転倒リスク。裾が床を引きずる場合はサイズ変更
- 竹刀は振り回さない。撮影時は周囲との距離を確保

⑧ 注意事項（安全・衛生）

- 転倒防止：袴の裾・紐の余りは必ず処理する（踏まない長さ）
- 混雑時は受付で人数制限（着装エリアは最大2組まで等）
- 衛生：面・小手は汗がつきやすい。こまめに拭き取り・除菌する
- 撮影・SNS投稿：主催の運用方針に従い、必要なら同意を得る



▲ 着装後の撮影例（個人）



▲ 着装後の撮影例（集合）

⑨ 備品チェックリスト（当日）

✓ 確認項目

- ☐ 剣道着（サイズ別）／袴（サイズ別）
- ☐ 防具一式（面・胴・小手・垂）／竹刀（複数）
- ☐ ハンガーラック／ハンガー／姿見（鏡）
- ☐ マット／シート／コーン（目印）
- ☐ 除菌用品（ウェットティッシュ・スプレー・タオル）／ゴミ袋